Empowered by Innovation NEC

ふぃーるどわーく

2014
SUMMER
No. 128

［巻頭対談］
「現場で汗をかく。そんな会社へ」
NECフィールディング 代表取締役 執行役員社長 中江靖之 × MM総研 代表取締役所長 中島 洋

［特集］
今こそ行きたい
日本の城

［IT全力支援］
Windows Server 2003/2003 R2
置き換えメニュー

［ニッポンの元気な会社］
石田大成社（京都）

雲海に浮かぶ姿から
天空の城とも呼ばれる
この山城は？
（ヒントは天守閣）

NECフィールディング

巻頭対談

現場で汗をかく。そんな会社へ

6月に新社長に就任した中江靖之は、NECでは、メインフレームの技術営業として流通・サービス事業を担当し、流通・サービス業界向けソリューション事業の本部長を経て、クラウド事業の立ち上げの責任者を務めました。初の営業系出身の社長として、どのようにお客さまにアプローチしていくのか。ジャーナリストでMM総研・代表取締役所長の中島洋氏が、新社長の抱負を聞きました。

写真＝大槻純一

困ったときには
何でも言ってください。
私たちがなんとかします。
そんな会社です

NECフィールディング
代表取締役 執行役員社長
中江靖之

1958年、神奈川県生まれ。81年、東京理科大学理工学部卒業。同年NEC入社。2012年、NEC執行役員就任。2014年4月、NECフィールディング取締役執行役員常務就任。同年6月、代表取締役執行役員社長就任

MM総研
代表取締役 所長
中島 洋

1947年生まれ。71年、東京大学文学部倫理学科卒業。73年、東京大学人文系大学院修士課程修了。日本経済新聞社入社。81年、日経マグロウヒル社（現・日経BP社）出向時に『日経コンピュータ』『日経パソコン』の創刊に関わる。2003年、MM総研（旧・マルチメディア総合研究所）代表取締役所長に就任

中島　社長に就任された感想はいかがですか。

中江　転職したような気分です（笑）。NECはITシステムを開発して納めるのが仕事ですが、当社は保守サービスや運用サービスなどのITサービスを提供していくのが仕事です。言ってみれば、点と線という違いがあります。当社の仕事はずっと長く続くものだけに、これまでNEC時代にできなかったサービスも提供できる。そう思うとワクワクしてきます。

中島　NECフィールディングとは昔から一緒に仕事をすることが多かったと伺いましたが。

中江　そうです。いろいろな場面で助けてもらってきたという立場です。私は営業時代に、ある大手コンビニチェーンで初めての24時間365日対応のPOSシステム構築を経験させていただきました。そのときはNECフィールディングの協力があってこそやり切ることができたと思っています。

　このプロジェクトは私にとって大きな自信になり、その後の流通POSソリューションの礎になりました。それに取り組んだ人たちと改めて一緒になって、これから新しい時代を切り拓いていけると思うと、大変光栄ですね。

中島　ITは急激に進化し、企業活動にとって欠かせない存在になっています。その中でNECフィールディングはどんな役割を果たしていくべきだとお考えですか。

中江　NECフィールディングは、床の下にもぐって回線をつないだり、現場で汗を流して仕事をしています。だからこそ何が課題なのかが分かっています。それを一つひとつ丁寧にやることが大きなブレークスルーにつながるはずです。

中島　どんな分野でブレークルーが期待できるのでしょうか。近年、ITの導入費用は大幅に下がり、ユーザー企業は保守・運用のフェーズにお金をかけています。それだけにNECフィールディングが手掛けるべきことも増えていると思うのですが。

中江　NECがやっていること以外はすべて当社の仕事、というくらいに考えています。

　例えば、ハードウェアは壊れないことが重要ですが、それればかりを優先すると価格が高くなります。相応の価格の機器を導入して、故障しそうな部品を、故障する前に取り換えることで、故障を回避する。そういうサービスを将来提供できれば、お客さまの満足度も上がり、当社の利益も向上します。

中島　御社には機器の保守についての膨大なデータが蓄積されています。確かに、それらを分析することで故障の予兆を把握することができそうです。まさにビッグデータ時代のビジネスですね。

中江　今までは保守・運用の対象をお客さまのIT機器に限定してきましたが、そういう枠組みはとりはらってしまいたいですね。保守・運用の技術を突き詰めるとともに、対象となる機器の範囲を広げていくことで、ビジネスは格段に広がります。例えば、医療機器の保守・運用にもITで培ったノウハウを生かすことができるでしょう。クラウドサービスの黒子としてのサービスにも当然対応できます。実際に保守・運用を24時間365日行える企業は少ない。そういう強みを生かしてビジネス領域を拡大していきます。

中島　今はモノ同士がインターネットを介して通信するIoT（Internet of Things）の時代です。あらゆる機器が24時間稼働して、データを相互に通信しています。御社のビジネスもIT以外の領域に広がっていくのは必然かもしれませんね。

中江　大事なのは、メニューありきで仕事をするのではなく、お客さまが困っていることを仕事にすることです。できることをやるのではなく、必要とされていることを、しっかりやれる会社になるべきです。社員にはお客さまから信頼されることを、プライドを持ってやってもらいたい。そのためには、日ごろから必要なスキルを習得するための努力を求めていきます。一方で、お客さまには、既成概念にとらわれることなく、困ったことがあったらぜひ当社を頼ってもらいたいと思います。

中島　プライベートでは釣りに凝っているとか。

中江　もう30年、沖釣りの世界にどっぷり浸っています。釣れる日もありますが、釣れない日もあります。だからこそ面白い。釣れないときに、いかに魚の食い気を導き出すか、引き出しの多さが問われます。

中島　なるほど。それが釣りの醍醐味なんですね。日ごろからより多くの引き出しを用意しておくことは、いざというときにビジネスの大きな波に乗る秘訣かもしれません。御社が大きな波に乗る日を期待しています。

ふぃーるどぃんぐ

2014 SUMMER
No. 128

CONTENTS

2 ［巻頭対談］
「現場で汗をかく。そんな会社へ」
NECフィールディング 代表取締役 執行役員社長
中江靖之
×
MM総研 代表取締役所長
中島 洋

4 日本の世界遺産 三好和義
第6回 白神山地

［特 集］
今こそ行きたい日本の城
6 現存12天守を見に行こう
8 城が舞台の司馬作品

［FROM FIELDING］
10 NEWS & TOPICS
12 IT全力支援 第6回
Windows Server 2003/2003 R2 置き換えメニュー
14 最新ITキーワード 中島 洋
第6回 ストリームコンピューティング
16 ニッポンの元気な会社
第6回 石田大成社
18 守りの美学 二宮清純
第6回 菊池涼介

発行 NECフィールディング株式会社
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
http://www.fielding.co.jp

編集・制作 日経BPコンサルティング
デザイン ボールドグラフィック
印刷 広英社

本誌掲載の写真・記事の無断転載および複写を禁じます。落丁、乱丁などの不良品がございましたらお申し出ください。お取り替えいたします。記事中の意見・見解はNECフィールディング株式会社のそれとは必ずしも合致するものではありません。

COVER PHOTO: 岡 泰行

みよし・かずよし
写真家。1958年、徳島生まれ。85年発売の写真集『RAKUEN』で木村伊兵衛賞を当時最年少で受賞。以降世界各地で"楽園"をテーマに写真を撮り続ける。著作に『日本の世界遺産』（小学館）、『富士山 極上の撮影術』（小学館）、『極楽園』（日経BP）など。

構成＝いなもあきこ

白神山地

写真＝三好和義

虹色に輝く
ブナ原生林で、
自分の体まで
緑に染まっていく

白神山地とは、青森県南西部と秋田県北西部にまたがる約13万haの山地帯。このうちブナの原生林が広がる約1万7000haのエリアが、世界遺産に登録されています。中心部分は入山禁止あるいは許可を必要とする保護地区ですが、気軽にトレッキングを楽しむなら、「岳岱（だけだい）」がおすすめ。樹齢400年の巨大なブナのほか、モリアオガエルが生息する池もあり、見どころ満載です。

同じく世界遺産の屋久島の鬱蒼とした森と比べると、白神山地は光があふれ、明るい印象。とくに芽吹きの時期は、緑がひと際"にぎやか"です。写真ではなかなか捉えられないのですが、ふわふわしたブナの芽は緑だけでなく、薄い紫やオレンジ、黄、青などに見えるのが不思議。虹色に光る森のなかに身を置くうち、いつしか自分の体まで緑に染まるよう。撮影時はつい背の高いブナを見上げたくなりますが、立ったままだと少々つらいもの。しゃがんだり石に腰掛けたりして、七色に輝く森の表情を味わいながら、じっくり撮影ポイントを探してみてはいかがでしょうか。

岳岱の山開きは例年5月の最終週ですが、昨夏の豪雨により、現在のところ岳岱への道路が遮断されている状態。残念ながら実際に足を踏み入れることができるのは来年以降になりそうです。

今こそ行きたい日本の城
現存12天守を見に行こう

「天空の城」と呼ばれる竹田城（兵庫県）が人気を集め、世界遺産の姫路城の大修理が話題になるなど、近年益々人気が高まっている日本の城。しかし、江戸時代の天守が残る城郭はわずかに12。貴重な現存12天守を訪ねる旅に出かけてみませんか。

兵庫県姫路市
6 姫路城
終盤に近づく「平成の大修理」

「平成の大修理」が終盤に近づき、今年6月末に大天守の全容が現れた姫路城。瓦のふき替え、壁の漆喰の塗り直しなどによる、新たな「白鷺」の輝きに注目が集まる。黒田官兵衛の居城として知られるが、現在の5層7階になったのは江戸期。池田輝政により築城された。2015年3月27日から一般公開の予定。国宝。

築城年：1601年～1609年（慶長6年～14年）／Tel：079-285-1146（姫路城管理事務所）

Check! 表紙の城はここ！

岡山県高梁市
7 備中松山城
雲海に浮かぶもうひとつの天空の城

竹田城と並ぶ「もうひとつの天空の城」として、注目を集めている備中松山城。秋から春の早朝に見られる雲海に浮かぶ幻想的な姿は、見る者を魅了してやまない（表紙の写真）。標高430mの臥牛山頂上付近に建つ典型的な山城。その歴史は古く、鎌倉時代にまで遡る。

築城年：1240年（延応2年）現存の天守は1683年（天和3年）／Tel：0866-21-0461（高梁市観光協会）

愛媛県宇和島市
12 宇和島城
藤堂高虎と伊達者のセンスが融合

城作りで名を馳せた藤堂高虎が築いたのち、1615年（慶長20年）に伊達政宗の子・秀宗が入部。その後、2代宗利により天守が新造された。洒落者で知られる伊達氏の感性が伝わる優雅な姿だが、立地など、守備を重んじる高虎の設計の才もうかがえる。

築城年：1601年（慶長6年）／Tel：0895-22-2832（宇和島城天守）

高知県高知市
10 高知城
小高い丘から高知市内を見守る

天守に加え、本丸御殿、櫓など、本丸内にあった建築物がすべて残っている高知城。御殿ではなく要塞として築かれていた天守本来の役割を実感できる。

築城年：1601年（慶長6年）／Tel：088-824-5701（高知城管理事務所）

愛媛県松山市
11 伊予松山城
約20mの高さを誇る圧巻の高石垣

天守、南北の櫓などを結ぶ連立式天守の構造を持つ平山城。約20m近い高石垣も見どころ。松平氏が城主になって再建された天守屋根瓦の紋章は、「丸に三つ葉葵」となっている。

築城開始年：1602年（慶長7年）／Tel：089-921-4873（松山城総合事務所）

島根県松江市
8 松江城
天守最上層屋根に約2mの鯱

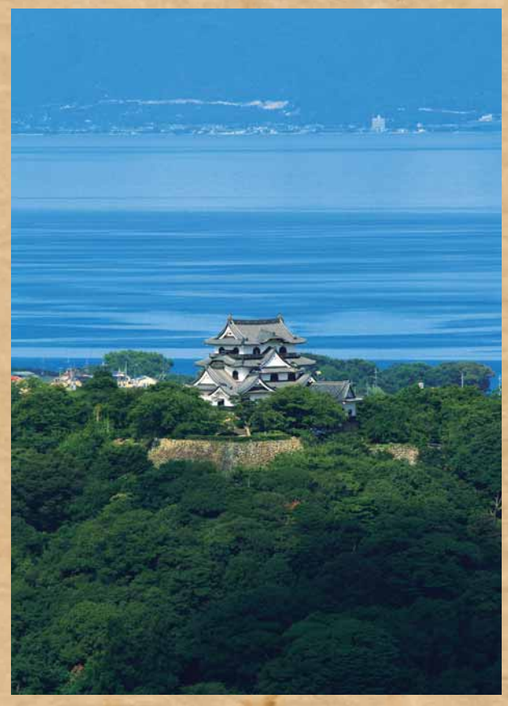
12天守のなかでは、山陰地方唯一の松江城。地下1階付きの4層5階で、現存の木造では最大といわれる鯱が天守を彩る。松江城にゆかりの小泉八雲をたどるツアーも人気。

築城年：1611年（慶長16年）／Tel：0852-21-4030（松江城山公園管理事務所）

香川県丸亀市
9 丸亀城
勾配が美しい高石垣

高松城の支城だったが、元和の一国一城令で廃城に。城郭石垣の構築技術がもっとも発達した寛永年間以降の城の再築により、「扇の勾配」と呼ばれる現在の石垣が築かれた。

築城年：1597年（慶長2年）1643年（寛永20年）再築／Tel：0877-22-0331（丸亀市観光協会）



滋賀県彦根市
5 彦根城
庭園の紅葉とともに天守を訪ねたい

桜田門外の変で知られる井伊直弼をはじめ、江戸時代、譜代大名筆頭を務めた井伊家の居城。天守からは琵琶湖が望める。回遊式庭園「玄宮園」の池に城が映る姿は、紅葉の季節が美しい。ゆるキャラの先駆け、ひこにゃんも出迎えてくれる。国宝。

築城年：1607年（慶長12年）頃／Tel：0749-22-2742（彦根城管理事務所）

福井県坂井市
4 丸岡城
越前平野に建つ質実で堅牢な姿

柴田勝家の甥、勝豊により築かれた、2層3階の小振りな天守を持つ丸岡城。合戦時に大蛇が現れ、霞を吹いて城を隠したという伝説から「霞ヶ城」とも呼ばれる。

築城年：1576年（天正4年）／Tel：0776-66-0303（霞ヶ城公園事務所）

長野県松本市
2 松本城
400年の歳月を経て守られてきた国宝

現存12天守のなかで唯一の平城。5層6階の大天守は戦国時代の姿のままに守られ、日本で4つしかない国宝城郭のひとつになっている。晴れた日には北アルプスが望めるのに加え、夏の薪能、琴やフルートの演奏を行う秋の「月見の宴」など、天守を背景にしたイベントも多彩。

築城年：1593年～1594年（文禄年間）／Tel：0263-32-2902（松本城管理事務所）

青森県弘前市
1 弘前城
岩木山を借景とした贅沢な眺め

関東以北で唯一、現存天守が残る弘前城。もともとの5層の天守は落雷で焼失し、今残るのは3層と小振りな角櫓だが、階上から見える岩木山が美しい。この秋からは大規模な石垣改修が予定されており、現風景が見られるのは今夏が最後のチャンス。

築城年：1611年（慶長16年）現存の天守は1811年（文化8年）／Tel：0172-33-8739（弘前市都市環境部公園緑地課）

文＝山内史子
写真＝新海良夫、michio yamauchi、橋本明己、塩谷眞則、萩野矢慶記、三木光／アフロ

読んで行く? 行って読む?

城が舞台の司馬作品

「城が好き」と自らも綴った司馬遼太郎の作品には、
日本各地の城が舞台として多々登場しています。
物語を読んでから眺める風景は、より感慨深いものになるでしょう。

Story 1

頑なに剣のみを信じ
北の地に散った土方歳三

新選組の副長として、江戸末期にその才を振るった土方歳三の生涯を描いた『燃えよ剣』。官軍に追われて北上した土方は最期まで剣を捨てず、函館の五稜郭近郊で散る。星形の城郭で知られる五稜郭は、箱館戦争の激戦の舞台。

築城年:1864年(元治元年)／所在地:北海道函館市／Tel:0138-21-3456(函館市教育委員会生涯学習部文化財課)

五稜郭 ×『燃えよ剣』

「おれは函館へゆく。
おそらく再び五稜郭には帰るまい。
世に生き倦きた者だけはついて来い」

『燃えよ剣』より

新潮文庫(全2巻)

Story 2

幕末の動乱に巻き込まれた
会津藩の悲運

勤王の志を有しながらも佐幕派の陣頭に立たざるを得なかった、会津藩主松平容保の悲劇を綴る短編『王城の護衛者』。その最後の戦いの舞台が、会津若松城だ。冬の寒さに耐える釉薬を用いた赤い瓦の色が、目に鮮やかに映る。

築城年:1384年(至徳元年)／所在地:福島県会津若松市／Tel:0242-23-8000(一般財団法人会津若松観光ビューロー)

会津若松城 ×『王城の護衛者』

「会津藩は砲煙のなかに官軍を迎え、
少年、婦人さえ刀槍をとって戦い、
しかし敗れた。」

『王城の護衛者』より

講談社文庫

Story 3

豊臣家の栄華と没落を
大阪城を舞台に描く

数ある城の中で、司馬が最も気に入っていたといわれる大阪城。『城塞』では、秀吉亡きあとの豊臣家を、家康がじわじわ追い込んでいく様が描かれている。大坂夏の陣で、巨大な城が炎上する様が切ない。

築城年:1583年(天正11年)／所在地:大阪府大阪市／Tel:06-6941-3044(大阪城天守閣)

大阪城 ×『城塞』

「西欧の城塞をはるかにしのぐ、
と宣教師たちによって讃嘆された
その巨城は、生駒の山腹から
十分に遠望することができる。」

『城塞』より

新潮文庫(全3巻)

Story 4

軍師・黒田官兵衛による
奇想天外な水攻め

大河ドラマ「軍師官兵衛」の主人公、黒田官兵衛の生涯を追った『播磨灘物語』。毛利攻めの山場として描かれているのが「備中高松城の水攻め」だ。山陽道一と言われた名城を、いかに落としたか。奇想天外な攻略戦が始まる。

築城年:1570年頃(永禄末年～元亀元年頃)／所在地:岡山県岡山市／Tel:086-287-5554(高松城址公園資料館)

備中高松城 ×『播磨灘物語』

「備中高松城は山陽道での名城で
あるだけでなく、守る兵は
五千以上であり、将は調略をまったく
受けつけなかった清水宗治である。」

『播磨灘物語』より

講談社文庫(全4巻)

Story 5

内助の功で知られる千代が
夫を誇らしく思い眺めた天守

山内一豊の妻、千代を主役にすえ、戦国の武将たちの栄枯盛衰を描いた『功名が辻』。関ヶ原の戦い後、土佐に封じられた一豊は、高知城の築城を進める。天守を眺めた千代は、その半生を振り返り、夫を誇らしく思ったという。

築城年:1601年(慶長6年)／所在地:高知県高知市／Tel:088-824-5701(高知城管理事務所)

高知城 ×『功名が辻』

「土佐土着の土民のどぎもを
ぬくよう上方風の城郭をきずき、
天守を天にそびえさせ、かれらに
新領主の威風というものをみせねばならぬ」

『功名が辻』より

文春文庫(全4巻)

Story 6

西南戦争の舞台となった
加藤清正による難攻不落の名城

明治維新後の混乱を取り上げた『翔ぶが如く』。やがて始まる西南戦争で、官軍が籠もる熊本城に西郷軍は攻撃をしかけたが、破ることができない。官軍ではなく、城を造った加藤清正に負けたのだと、西郷が語った逸話も残る。

築城年:1607年(慶長12年)／所在地:熊本県熊本市／Tel:096-352-5900(熊本城総合事務所)

熊本城 ×『翔ぶが如く』

「幸い、熊本城は近代要塞でないにせよ、
十六世紀の城郭としては日本一の堅城と
されている。(中略)その点、この熊本城ほど
理想的な防塁は、日本中にない。」

『翔ぶが如く』より

文春文庫(全10巻)

武将隊がおもてなし?

©2009 Nagoya Omotenashi Busho-Tai Secretariat

城をはじめ歴史的な名所で最近、観光案内役として人気を集めているのが、「武将隊」だ。先駆けとなったのが、2009年に登場した「名古屋おもてなし武将隊」(左写真)。織田信長、豊臣秀吉、徳川家康、前田利家といった戦国武将たちが、名古屋城で出迎えてくれる。

鎧兜を身に付けているだけではなく、各武将のキャラクター作りに徹しているのが最大の魅力。いずれもイケメンで、ファンやリピーターも急増中だという。伊達政宗ゆかりの仙台城、加賀百万石の金沢城などでも、個性豊かな武将隊が結成されている。

NEWS & TOPICS

NECフィールディングからのお知らせ

2013 DECEMBER
2014 JUNE
12-6

第5回教育ITソリューションEXPOに出展

タブレットや電子黒板を学校で使えるようにする「学校向け無線LAN構築パッケージ」を紹介。

05/21~23

第11回情報セキュリティEXPO【春】、第5回クラウドコンピューティングEXPO【春】に出展

「情報セキュリティEXPO」ブースでは「標的型攻撃メール対応訓練サービス」を紹介。併せて、ノートPCにディスプレイをつなげて実際に疑似攻撃メールを送受信するデモンストレーションを行いました。「クラウドコンピューティングEXPO」ブースでは、Windows Server 2012上に構築した仮想環境での複数OSの動作を実際に見ていただき、Windows Server 2012への移行サービスメニューを紹介しました。

05/14~16

第58期株主総会開催

06/24

平成26年3月期 決算発表

04/25

入社式

2014年度入社式がメルパルク東京（港区）で行われました。64名の新入社員を迎えることができました。

04/01

第24回 NECフィールディング世界遺産劇場（醍醐寺）

04/11~12

平成26年3月期 第3四半期決算発表

2014 01/30

NECとサイバーセキュリティ運用支援サービスの提供を開始

セキュリティに関する包括的な運用監視と即時的で網羅的なインシデント対処能力を付加するサイバーセキュリティ運用支援サービスを販売開始しました。

※当社はサイバーインシデント発生時の緊急対応を行う「サイバー駆け付けサービス」を提供します。

12/25

「インテリジェント人検知センサー」を発売

オフィスの節電対策を支援する省エネオフィスサービス「エネパル® Office」を強化して、人体を検知する「インテリジェント人検知センサー」を発売しました。

2013 12/09

第31回IT賞で「IT特別賞（業務改革推進賞）」を受賞

公益社団法人企業情報化協会主催の「平成25年度（第31回）IT賞」において、NECフィールディングコンタクトセンターの問診システムが「IT特別賞（業務改革推進賞）」を受賞しました。写真は2月6日に東京コンファレンスセンター品川で行われた授賞式の様子。

IT賞 Japan Institute of Information Technology Information Technology Award

©竹下光士

NECフィールディング 劇場遺産世界

NEC FIELDING Event Report

［開催報告］

山崎まさよしさんの歌声が広がる醍醐寺での幽玄なる音の絵巻

第24回NECフィールディング世界遺産劇場は、豊臣秀吉が催した「醍醐の花見」で有名な醍醐寺の霊宝館で4月11日と12日の2日間にわたって開催されました。

「薬師如来坐像」が演奏メンバーに加わったかのような幽玄なステージ

山崎まさよしさんの熱のこもったステージ

©竹下光士

国宝「薬師如来坐像」と両脇侍（日光菩薩・月光菩薩）像をバックに、山崎まさよしさんが弦カルテット（弦楽四重奏）の特別編成を率いての2日間のアコースティック・ライブを行いました。厳かな雰囲気の中に、素晴らしい演奏と山崎さんののびやかな歌声が響き渡り、会場は幻想的な世界に包まれました。

当社独自の企画ブースで醍醐寺の魅力を案内

当社は、コンサート会場の入り口近くにブースを設置し、観光客の皆さまやコンサート来場者の方々に楽しみながら醍醐寺についてより深く知っていただくことを目的に、二つの活動を実施しました。一つ目は、展示された醍醐寺のパネルを見てNEC製タブレット端末を使ってクイズに答える世界遺産クイズ。二つ目は醍醐寺の僧侶が案内する「法要・法話と醍醐寺散策ツアー」。通常は行われていない特別な企画で、参加された皆さまから大変ご好評をいただきました。

これらの当社独自の活動は、当社のブースを訪れていただいた方々や現地の方々との触れ合いを大切に、社員ボランティアによって運営されました。

NEC製タブレット端末を使った世界遺産クイズ

法要・法話と醍醐寺散策ツアー

◎ NECフィールディング 世界遺産劇場とは

日本各地の世界遺産や世界遺産登録候補地を舞台に、アーティストによる伝統芸能や音楽・舞踏のイベントを開催することで、有形無形の文化の素晴らしさや保全の重要さに加え、世界遺産の「活用の具現化」を啓発する文化活動です。

当社は、このイベントが発足した2006年から協賛し、2011年からは冠協賛しています。また、世界遺産劇場の開催に合わせて、当社独自の企画（世界遺産クイズや散策ツアーなど）、開催地をより知っていただくための企画を社員ボランティアで運営しています。

当社の世界遺産劇場への協賛事業は今回をもちまして終了しました。

IT全力支援 第6回

［Windows Server 2003/2003 R2 置き換えメニュー］

サーバOSのサポート終了に備えて置き換えメニューでお客さまを支援

2015年7月、マイクロソフトによるWindows Server 2003/2003 R2の延長サポートが終了する。サーバOSの更新には準備期間が必要であり、アプリケーションの問題や周辺機器への対応も課題となる。そこでNECフィールディングでは、Windows Server 2003/2003 R2置き換えメニューを提案し、スムーズなサーバOS移行を支援している。

サーバOSのサポート終了でセキュリティの危険性高まる

2015年7月14日にWindows Server 2003/2003 R2(以下、サーバ2003)のサポートが終了するとどうなるのか。まず重要なのは、セキュリティ上の問題だ。OSにセキュリティホールが見つかっても、更新プログラム、いわゆるセキュリティパッチが配布されない。このためウイルス感染によるデータ漏えいやサイバー攻撃に対する危険性が増す。

またサーバ2003は、ハードウェア自体が老朽化しているため、長年の使用により故障率が高まっている。さらに、故障しても補修部品が供給できないケースもあるため、会社の業務が完全に停止してしまう事態も想定される。

まず着手してほしい情報システムの〝棚卸し〟

もっとも、最新のWindows Server 2012 R2(以下、サーバ2012)を搭載したサーバに入れ替えれば済むという話でもない。

「現在使っているアプリケーションソフトや周辺機器は最新のサーバOSに対応しているかどうか、システム全体を考える必要があります」とソリューション事業推進本部プラットフォーム推進部の野村敬は注意を促している。

「アプリケーションソフトも、古くなると更新プログラムが配布されなくなったり、そもそもメーカーがなくなってしまっている場合もあります。また、スクラッチ開発したアプリケーションであれば、新しいサーバOSに対応してバージョンアップする必要も出てきます」

このような場合に備えて、お客さま自らシステムの中身を再点検する必要がある。「サーバOSの更新は、システム全体を見直すチャンスでもあります。ソフト資産など情報システムを一回棚卸ししてみましょう」と提案する。

ソフトやハードを含め情報システム全体を見直してみる。そこから始めなければ、サーバOS更新のスケジュールは決まらない。しかも情報システム全体を検討し直すことで、新たな展開も可能になってくるという。

単純にサーバOSを最新バージョンに更新するだけでも、多くの可能性が開けてくる。サーバOSがサーバ2012となることで、搭載されている通信プロトコルであるSMB(Server Message Block)の接続機能も最新バージョンとなり、ファイル転送速度が大幅に向上する。

それに加えて、サーバ2012に搭載されている新しい「データ重複除去」機能により、データの共通部分を一元化できるようになり、格納されるデータの重複が避けられ、ディスクの空き容量が増えるというメリットもある。

「サーバOS更新を機に、システムの棚卸しを」という提案の延長線上には、システム構成や運用の最適化がある。

「システムの中身を検討する中で、以前はできなかった仮想化という選択肢も出てきますし、将来的にクラウド利用という方向性を持つこともできます」と言う。

最適な移行計画の実行で移行コストを最小限に

では、実際にはどのようにサーバ移行を行えばよいのだろうか。

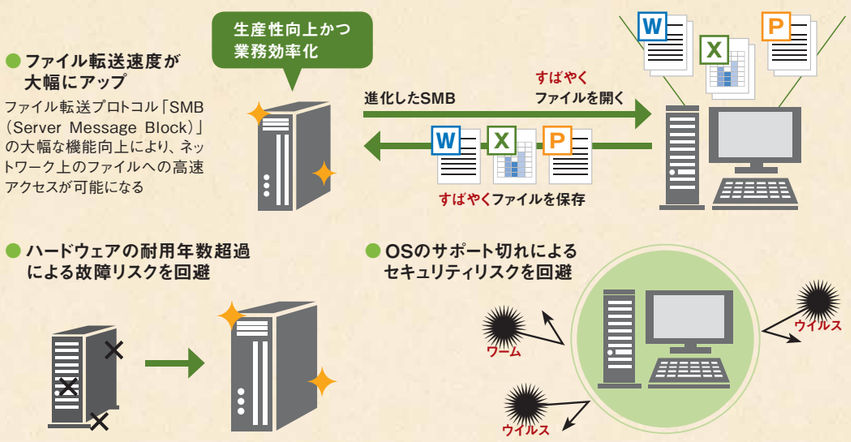
最初に手がけるのは移行計画の策定だ。最適な移行計画を実行することで、システム移行コストを最小限に抑えることができる。

「すべてのデータを移行しようとすれば、時間も手間もかかり、その分費用も増えます。従って、最適な移行計画の策定がとても重要になります」

実際の移行では、例えばファイルサーバの場合、移行する対象を選別し、不必要なデータは削除する。この時に、NECの『ファイルサーバ整理ソフトNIAS*』を活用すれば、重複ファイルや大容量ファイルの検出が容易になる。

アプリケーションサーバ(APサーバ)の場合は、現在使用しているアプリケーションソフトが新しいサーバOSでも使用できるのか、スクラッチ開発したアプリケーションソフトの場合は開発したメーカーが最新OSに対応するバージョンアップに応じてくれるアプリケーションソフトがあるかなどを確認する。

図1 新しいサーバへの置き換えメリット



Windows Server 2003/2003 R2を新しいWindows Server 2012 R2に置き換えると、ファイル転送速度が大幅にアップするほか、ハードウェアの故障リスクやセキュリティリスクを回避することができる

*NIAS:NEC Information Assessment System

IT仕事人ファイル

ソリューション事業推進本部
プラットフォーム推進部 主任
野村 敬

2000年4月入社。5年間保守業務に携わり、その後システム構築などを手がける。現在はソリューション事業推進本部でサービス企画に従事している。

最新IT KEYWORD

第6回

［ストリームコンピューティング］

“今”のデータをリアルタイムに活用する

Illustration: Saho Ogirima

インターネット上では膨大な量のデータが流通しているが、それは毎日、毎時、毎分、猛烈な勢いで増加している。「データ爆発」である。この膨大なデータの流れの中にある関係をリアルタイムに把握できれば、ヒトの動きやモノの動きを予測し、様々な分野で有効活用できる。ビッグデータをリアルタイムで活用する重要な新しい道具の登場である。それが、今流れているデータを高速処理するストリームコンピューティングである。

インターネット上を流れるどんなデータが利用できるのか。センサーの発達や、データを高速かつ低コストで転送する通信技術の発達、さらにデータを高速処理するソフトウェアやメモリの機能向上などが組み合わさって、ありとあらゆるデータが利用できるようになる。

まず、位置情報が挙げられる。携帯電話やスマートフォンの登場で位置データが把握できたり、モノに付けたRFID（無線識別タグ）の動きを把握してモノの現在位置を知ることができる。気温や湿度などの気象データも有用だ。一方、ツイッターやSNSなどのメッセージや、身に着けるウェアラブルコンピュータの発展で、ヒトの健康関連のデータも利用できる。社会インフラ関連では、自動車の運転状況データをリアルタイムに交通システムに反映して渋滞を回避するなどの利用法もあるだろう。このように、社会インフラ、医療、教育、農業、マーケティングなどあらゆる分野で活用が期待される。

従来のビッグデータ利用は、例えば1日分のデータを貯め込んで、これを様々な要素から整理して関係性を抽出し、そこから新しい知見を獲得し、仮説を構築してマーケティングや状況分析に活用してきた。この手法はそれなりに重要な知見を得られて貴重だが、あくまでも時間が経過した後の過去のデータの分析だった。

それが、ハードウェア、ソフトウェアの高速処理の技術が発達して、メモリ段階でデータを分類、仕分けできるようになった。今流れているリアルタイムのデータをサーバで分析して、直ちに次の一手を打てるシステムへと発展したのである。

大量の生体情報の変化をリアルタイムに立体的に処理しながら外科手術を行う、などの利用法は、医療技術の飛躍的な向上につながるだろう。農業分野では、どういう肥料を投入するか、ハウスの中での炭酸ガスの供給量をどのように柔軟に調整するか、など幅広く利用されている。また、特にマーケティング分野では目に見える威力を発揮する。消費者の位置情報や顧客情報を組み合わせてスマホを通じて店舗に誘導するなどの効果的な手法が開発されるはずである。

経営手法や顧客への接近方法、商品開発、サービス開発、社会システムの再編など様々な領域に大きな変化がもたらされると予想される。

文=**中島 洋**［Nakajima Hiroshi］
MM総研 代表取締役所長

1947年生まれ。日本経済新聞社でハイテク分野などを担当。日経マグロウヒル社（現・日経BP社）では『日経コンピュータ』『日経パソコン』の創刊に関わる。2003年、MM総研の代表取締役所長に就任。

のかといったことも確認しなければならない。

一方、サーバ2003を搭載するのはファイルサーバやAPサーバだけではない。認証基盤を搭載するアクティブディレクトリ（AD）サーバがこのOS上で稼働している場合もある。

この場合も、サーバOSの更新によって、これまでのアクセス制御に対して、さらに機能的なアクセス制御、効果的なアクセス制御を導入することが可能になる。

“旧サーバ”の延命もP2Vで可能に

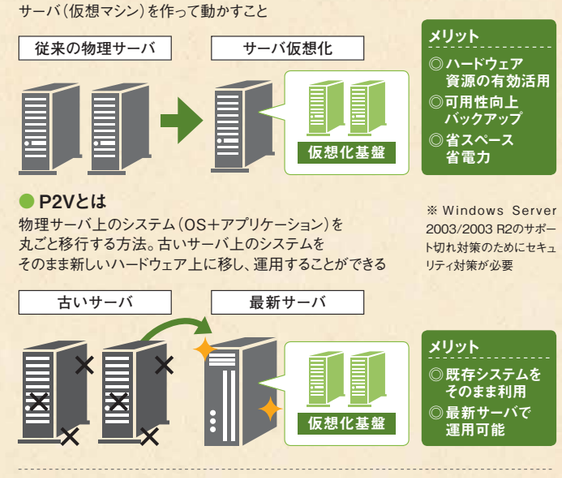
「効率的にリソースを使用するという点で、サーバ仮想化という選択肢もあります。我々としても仮想化によってリソースを最適化することをお薦めしています」

サーバ仮想化とは、物理サーバ上に複数の仮想マシンを設定し、1台の物理サーバであたかも複数のサーバが稼働しているような環境を作ること。ハードウェアのリソースを有効活用でき、省スペース・省電力というメリットもある。しかも、「重要なアプリケーションソフトのバージョンアップが難しい場合には、仮想マシン上で既存システムを動かすという選択肢もある」という。つまり物理サーバではサーバ2012が稼働しているが、その中に搭載された仮想マシンは既存システムで動くというイメージだ。これならアプリケーションソフトを急いで作りかえる必要もなく、暫定的に既存システムを新しいサーバで稼働させることができる。こうした物理サーバから仮想サーバへ移行させるP2V（Physical to Virtual）ならば、移行作業を軽減し、なおかつ既存システムの延命策にもなる。仮想化では移行するサーバにHyper-VやVMware vSphereなどの仮想化基盤ソフトを導入し、P2V移行ツールにより旧サーバから新サーバへ移行する。

「サーバ仮想化を取り入れることは、新たなシステム基盤を導入することでもあります。その上でBCP（事業継続計画）などを織り込んだレプリケーションや冗長化という方向性もあります」というように、最適なシステム構築には、まず仮想化というテーマを置くべきだろう。仮想化を図れば、次の段階はクラウド利用など、システムの導入形態の選択肢も広がる。

「これからのシステムがどうあるべきか、今のシステムの棚卸しから始めて、新しい基盤を構築する。仮想化はスタートです」と、サーバ2003の延長サポート終了をチャンスと捉え、「全国約400カ所のサービス拠点でしっかりサポートしていきます。また、導入後の各種サポートサービスも手厚く取り揃えていますので、ぜひ当社にご相談ください」と、置き換えメニューを充実させながら強力にバックアップしていく方針だ。

図2 サーバ仮想化のイメージとそのメリット



サーバの仮想化P2Vを利用することで、既存システムをそのまま新しいハードウェアに移行し「延命」できる。最新のハードウェアで運用することで、故障のリスクが軽減し、処理能力も大幅に向上する

「Windows Server 2003/2003 R2 置き換えメニュー」に関するお問い合わせ、ご相談は、下記までご連絡ください。

◎NECフィールディング
「Windows Server 2003/2003 R2 置き換え」事務局
0120-880-243
受付時間：9:00～12:00、13:00～17:00
（土日祝日を除く平日、ただし、年末年始等、当社が定める休日を除く）

◎詳しくはこちらのサイトをご覧ください。
http://www.fielding.co.jp/campaign/windowsserver/index.html

第6回 ニッポンの元気な会社 ［石田大成社］

ADサーバのリプレースを実施し国内11拠点に無線LANを構築

京都に本社を置く石田大成社は印刷会社として創業し、2016年には百周年を迎えられます。同社は国内11拠点、海外9拠点でネットワークを構築しており、効率的な事業運営にITは欠かせません。今回、NECフィールディングは石田大成社様のアクティブディレクトリサーバの更新から無線LAN構築、固定電話のPHS化など一連の業務改善施策をサポートしました。

ハードの老朽化に対応しサーバの更新を進める

――事業活動とシステム部門の概要について教えてください。

小柳 当社はプロモーションツールやマニュアルの制作、デジタルサイネージをはじめとした各種メディア事業を行っています。拠点数は国内に11拠点、海外に9拠点になります。

小泉 IT化を担う情報システム担当は総務人事部に所属しています。主に全社のプラットフォームとなるシステムの構築・運用に関わっています。また、各業務部門で所管する業務用サーバなどについても、現業部門からの依頼があれば構築のアドバイスや運用支援を行うケースもあります。

――13年7月にアクティブディレクトリサーバ(ADサーバ)をリプレースされました。

天野 それまで使用していたADサーバ(京都本社、名古屋、東京で計3台)は2005年に導入しており、5年間のリース期間を終えた後も使い続けていました。これまで故障もなく、問題なく使っていましたが、一方で、ハードが老朽化してくると故障が起きるのではという懸念がありました。

さらに、ADサーバはサーバOSにWindows Server 2003(以下、サーバ2003)を搭載しているのですが、15年7月にサポートが終了となることもあって、更新することにしました。

――サーバ更新はどのような手順で行われたのでしょうか。

天野 13年7月に3週間にわたって、週末を利用して京都、名古屋、東京の各拠点にあるサーバの更新を行いました。金曜日の夜に準備に入り、土曜日1日を更新作業にあて、日曜日は予備日という形です。NECフィールディングからも複数のメンバーが駆け付けて、手際よく作業を進めてくれました。

小泉 月曜日の朝に本番稼働するわけですが、いずれの拠点もまったく問題なく動きました。こちらもADサーバの知識を勉強しつつ、NECフィールディングに教えてもらいながら、というのが実態ですね。

――サーバ2003を搭載するサーバの更新は完了したのでしょうか。

天野 まだ更新を終えていないサーバも一部ありますが、15年7月までには更新を完了する予定です。

小泉 将来的な構想の中ではデータセンター利用という選択肢も検討しています。現有のシステムのハウジングですね。NECフィールディングからも提案をいただいており、当社のシステム最適化という点でどのような選択をすべきか考えているところです。

小柳 クラウドなどITの潮流は理解できるのですが、それを当社はどのように推進していくかをもう十分検討したいと思います。もちろんシステム運用コストの削減は重要ですが、安全性や生産性の向上にどう生かしていけるかを見極めたいですね。

通信環境の整備を進め生産性向上に寄与

――各拠点での無線LAN導入も生産性向上に貢献しているようですね。

天野 当社の場合、組織改正や人事異動は定期的にあります。そのたびにLANケーブルを引き直すのはコストも手間もかかります。無線LANを設置したことで、どこでも同じようにネットワークにアクセスできるのは大きなメリットです。今回は、NECフィールディングに各拠点での無線アクセスポイントの設置などを支援してもらいました。やはり無線LANで設置でもノウハウを持っているので〝任せて安心〟だったと思います。

――固定電話からPHSへの転換も同じ理由からでしょうか。

小泉 レイアウト変更のたびの煩雑さを回避する、という点では同様です。PHSの他拠点への導入では、オフィス内の電波測定などをNECフィールディングに綿密にやってもらい、大いに助かりました。

天野 固定電話のときは、お客さまから電話がかかっても担当者がたまたま離席中だったりすると、お客さまに迷惑をかけたりしていました。今ではどこでも電話に出られるので好評ですよ。

小柳 大きな電話機がなくなり、机のスペースが広がったという声もありました。そういう点でも生産性向上につながっていると感じます。一連の作業を効率的に実施したので順調に更新が進んだと感じています。ITは当社の業務にとっても非常に重要なツールです。データセンター利用も含め、今後もパートナーとして長くサポートしてほしいですね。

石田大成社
総務人事本部
中部地区総務人事部
システム担当　主査
天野 正俊氏

石田大成社
総務人事本部
京都本社総務人事部
システム担当　主幹
小泉 豊氏

石田大成社
総務人事本部
京都本社総務人事部
理事 部長
小柳 直史氏

通信キャリア事業部営業部

豊富な経験とノウハウを基盤に全国規模でビジネスを展開

通信キャリア事業部営業部は、2013年4月1日付組織改正で、それまでの特定サービス事業部データ通信サービス部営業グループを再編して発足しました。お客さまへの二層のサービス価値向上がその目的です。その名の通り通信事業者をメインの顧客としていますが、通信ネットワーク関連の事業以外にITシステム提案や構築などの窓口にもなっています。

営業部の人員は44人。そのうち半数以上はNECの通信キャリア向けビジネスと連携して活動しており、純粋な営業担当は12人です。通信事業者以外にもメディア関連など新たなお客さま開拓に注力しています。全国のお客さまに対応しているので、メンバーのほとんどは常にどこかに出張しているか、通常でもお客さま回りに飛び歩いており、昼間オフィスにいることはあまりないという状況です。

各地の拠点との連携も非常に密接です。通信事業者様向けビジネスで培った経験とノウハウが豊富にあり、これからも小さな案件から大きなプロジェクトまでお客さまに寄り添ったビジネスを全国規模で展開していきます。

NECフィールディング
通信キャリア事業部営業部長
向笠 弘二

「営業の現場に長く携わって思うのは、エンドユーザー様と密に連携することの大切さです。ニーズや困りごとを聞き出し迅速に対応すること。今も昔も〝足で稼ぐ〟のは同じです」

［担当者からひとこと］

NECフィールディング
通信キャリア事業部
営業部営業マネージャー
加藤 英則

「石田大成社様の社員の皆さんが我々のサービスを利用することで、楽に効率よく仕事が進められるようになることに腐心しました。サービスを押し付けるのではなく、これからも困りごとの解決のために協力していきたいと考えています」

NECフィールディング　京都支店
営業課営業マネージャー 兼 LCM事業推進本部
プラットフォームサービス支援部
木下 和直

「ADサーバの更新から石田大成社様とディスカッションさせていただくようになりました。これからもいろいろなサービスを組み合わせて提案し、皆さんを支援して実現させていきたい。まず我々に相談していただける存在を目指します」

DATA

ITP 株式会社 石田大成社

株式会社 石田大成社
http://www.itp.co.jp/
設立:1916年(大正5年)　代表取締役社長:阿部乙彦　資本金:9000万円　売上高:192億円(グループ全体244億円)　従業員数:1069人(グループ全体1376人)　本社所在地:京都市中京区丸太町通小川西入／東京本社:東京都千代田区外神田2-18-2

2016年(平成28年)5月に創業100周年を迎える。印刷機械3台と職人2人でスタートし、京都の大手百貨店の包装紙印刷を手がける。1954年(昭和29年)の東京進出から順次国内各地に拠点を設置。顧客も百貨店から各産業に拡大。大手自動車メーカーの取扱説明書などの制作にも進出。現在は国内11、海外に9拠点を展開。

二宮清純

守りの美学

第六回

打球あるところに菊池あり――。俊足で守る〝エリア33〟

――菊池涼介

Ryosuke Kikuchi

©週刊ベースボール

♫疾風のように現れて
疾風のように去っていく

昭和30年代に流行したテレビ番組「月光仮面」の主題歌だ。この歌詞を想起させる内野手が広島カープのセカンドベースマン菊池涼介である。

一二塁間であれ、二遊間であれ、「抜けた！」と思った瞬間、必ずこの男が現れ、手際よく打球を処理してしまうのだ。

昨シーズンはセカンドでの補殺のシーズン日本記録（528）をつくった。これまでの記録は荒木雅博（中日）が持っていた496。それを大幅に更新した。

失策も19（セカンドでは18）と多く、これはリーグ最多だったが、逆に言えば、それだけ打球に触れる機会が多かった証拠である。いわば向こう傷のようなものだから、何ら恥じることはない。

あるアナウンサーは、実況中継で菊池を「忍者」と評した。神出鬼没の動きで、打球あるところに菊池あり――。ピッチャーにとって、これほど頼りになる存在はあるまい。

その背番号にちなみ「エリア33」とでも呼びたくなる菊池の守備範囲を支えているのが50メートル5秒9の俊足である。しかも動き出しが早いため、ファインプレーがファインプレーに見えない。

他の選手が飛びついて捕るところを、菊池は体のほぼ正面で捕る。天性の身体能力に経験が加われば鬼に金棒である。

これまで野球の世界では、最もうまい内野手はショートと相場が決まっていた。実際、菊池も大学（中京学院）時代はショートを本職としていた。

しかし入団したカープには梵英心というゴールデングラブ賞を獲得したことのある中堅がおり、セカンドの東出輝裕の故障もあって、そのポジションを射止めた。

将来的にはショートを守った方がよいのか。

「いや、二塁手で大成してもらいたい」

そう語るのは内野手として計10回のゴールデングラブ賞に輝いた元ヤクルトの宮本慎也だ。

「カープが本拠地とするマツダスタジアムは昔（の広島市民球場）と違って広い。ランナーが二塁にいて、二塁間を抜けるヒットなら、まず1点は入ります。エンドランがかかっていれば、一塁ランナーはまず三塁までいくでしょう。つまり一二塁間の打球に追いつけるセカンドがいるかいないかでカープの勝率は全然、違ってくると思うんです。それを考えるなら、やはり菊池を二塁手においておきたいですね」

6月23日現在、カープは36勝30敗で首位の巨人を2.5ゲーム差で追う。優勝すれば、実に23年ぶりだ。

好調カープを支えるのがリーグ随一の防御率を誇る投手陣。石井琢朗内野守備走塁コーチは「価値あるプレーでチームを救ってくれる」と褒めていた。

カープファンにとって「疾風のように現れる」菊池は、まさに「正義の使者」である。

にのみや・せいじゅん
1960年、愛媛県生まれ。スポーツ紙や流通紙の記者を経てフリーのスポーツジャーナリストとして独立。五輪、サッカーW杯、メジャーリーグなど国内外で幅広い取材活動を展開中。最新刊『プロ野球 名人たちの証言』『プロ野球の名脇役』など著書多数。
http://www.ninomiyasports.com/sc/

JASRAC 出 1406936 401

Empowered by Innovation NEC

本音の議論であるべき姿へ。
信頼のおけるパートナー
だからこそです。

さあ、
ご一緒に！

NECフィールディング株式会社
九州支社 業種営業部
産業ソリューション課長
扇野 圭介

JCHO九州病院
医療情報部長 情報セキュリティアドミニストレータ
循環器専門医・超音波専門医 医学博士
野間 充 様

導入事例
JCHO九州病院 様 & NECフィールディング

充実のコンサルティングサービスで、セキュリティレベルの強化と意識向上を実現。

北九州の基幹病院、JCHO九州病院（旧:九州厚生年金病院）様。電子カルテシステムの導入後、他の医療機関との連携が増える中、課題となったのが、情報セキュリティ対策です。NECフィールディングは「セキュリティ研修」と「セキュリティポリシー策定支援」の2つのサービスを提供。研修は、身近で現実的な対策を中心にすることで、セキュリティレベルの強化と同時に意識向上を実現しました。ポリシー策定では、現状のリスクを洗い出すため、さまざまな職種の職員さまにヒアリングを実施。実態に即した有効な内容となりました。その成果として、患者さまと連携医療機関の安心感向上が期待されています。
信頼のパートナーとして医療情報部様と“あるべき姿”を共有しながら、着実に進めたNECフィールディング。日本中の躍進企業の皆さま、御社の社外スタッフとして、さらなる成長を後押しする最適なITソリューションをご提案いたします。

本プロジェクトの詳細はWEBで
ITで会社はもっと強くなる　検索

ITで会社はもっと強くなる。

J.D. パワー
“ITソリューションプロバイダー顧客満足度2年連続No.1
<コンピューターメーカー系ベンダー・セグメント>”
出典: J.D. パワー アジア・パシフィック2012～2013年日本ITソリューションプロバイダー顧客満足度調査SM。従業員50名以上の企業1,398件の回答を得た結果による。japan.jdpower.com

企画、導入から運用、復旧まで、ITシステムをフルサポート
NECフィールディング

http://www.fielding.co.jp
人と地球にやさしい情報社会へ

VEGETABLE OIL INK